

自主防瓦版

2024年
2月16日
(第136号)

延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

結成しました

自主防災組織率
組織数
279組織
組織率

85.90%
令和5年10月1日
現在

防災訓練は災害
時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。
「延岡市 自主防瓦版」で検索してみてください。

千代ヶ丘地区防災訓練

千代ヶ丘地区自主防災組織(大内田豊会長)は、令和五年十二月三日(日)千代ヶ丘第1街区公園で防災訓練を行いました。

8時45分に南海トラフ地震が発生したとの想定で第11部消防団(後藤大樹部長)が避難広報を行うと、地区住民は千代ヶ丘第1街区公園に避難して来ました。公園では各区ごと避難住民を名簿にて確認しました。

次に、防災資機材の取扱いについて防災推進員から説明を受けたのち、担架、リヤカー及び発電機の操作訓練を実施しました。

その後、心肺蘇生法及びAEDの取扱いについて説明を受け、多くの方が実技を行いました。「もしもの時は、実施する必要があるのに役に立った」と話す住民の方もいました。

最後に、延岡市における火災件数・原因及び初期消火時の注意事項について説明を受けたのち、水消火器を使用した消火訓練及び煙体験ハウスを使用して煙中避難訓練を行い、訓練を終了しました。



【続々と避難して来る住民】

【リヤカー組み立て】

【消火訓練実施中!】

【前が見えませんが】

須美江町区防災訓練

須美江町区自主防災組織(佐藤一彦会長)は、令和五年十二月十七日(日)小学校跡地及び須美江公民館で防災訓練を行いました。

はじめに、小学校跡地前の消火栓を使用して第58部消防団(甲斐宏明部長)によるホース展開訓練を展示しました。その後、マンホールの開け方やホースの接続要領などを地区住民に説明しました。

次に、須美江公民館に移動して防災資機材の操作訓練を実施しました。担架やリヤカーの組み立て及び発電機を起動して投光器に給電し点灯するかを確認しました。

その後、水消火器を使用した消火訓練を実施しました。「安全栓を抜く、ホースを外して握り燃えている物に向ける、レバーを握る」と手順を確認しました。

屋外での訓練後、公民館の中で東海派出所警察官から防犯講話及び防災推進員から土砂災害と火災予防について講話を受けました。

最後に、救命講習を受けたのち実技を行い、訓練を終了しました。



【歩行者優先です!】



【消防団員による展示】



【心肺蘇生で助けます】



【みんなで消火】

富美山みどり区防災講話

富美山みどり区自主防災組織(森口正輝会長)は、令和五年十二月十二日(火)みどり区公民館にて防災講話(火災予防)を行いました。

はじめに、防災推進員から令和4年延岡市における火災件数、火災の種別及び原因について説明を受けました。住宅火災を防ぐための注意事項(たこ足配線をしない)について映像を交えて確認することができました。

最後に、中村消防防災(株)から消火器及び火災警報器の購入や廃棄処分について説明を受け、終了しました。

上平原区防災講話

上平原区自主防災組織(山本盛男会長)は、令和五年十二月十二日(火)上平原公民館にて防災講話を行いました。

今回は、ストーブ等の暖房器具を使用する機会が多くなる時期に合わせ防災推進員から火災予防について説明を受けました。

ストーブやガスレンジの周りは整理整頓する、電源コードを引っ張って抜かないなど住宅火災を防ぐためには必要だと感じました。また、消火器や火災警報器の使用期限が切れていないか確認して更新するように伝え、講話を終了しました。

防災訓練等予定

防災講話

○下祝子地区合同防災講話
3月17日(日)
午前 9時～
祝子営農集会場

○本小路2区区防災講話
3月17日(日)
午後 1時～
社会教育センター

防災訓練

○方財町区合同防災訓練
3月 3日(日)
午前 9時～
方財町区内

○野地町向陽団地防災訓練
3月 9日(土)
午前 9時～
向陽団地公民館

○平原地区合同防災訓練
3月10日(日)
午前 8時～
青朋高校・南小学校



出前講座

自主防災組織の育成と拡大のための出前講座

- ・内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
- ・会場：各地域（公民館など）
防災研修センター
- ・申し込み先：消防本部
警防課 警防係
TEL22-7105
FAX31-0303

宮崎県防災士出前講座

- ・内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
- ・申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL0985-55-0477
FAX0985-55-0467



【胸骨圧迫の説明です】



【お世話になってます】



【タイミング合わせて】



【各組毎、集まって～】



【油火災装置、準備よし】



【消防団員がサポート】

伊形区・伊形町新町区・上伊形区合同防災訓練

伊形区自主防災組織（稻吉悦夫会長）・伊形町新町区自主防災組織（磯貝透会長）・上伊形区自主防災組織（甲斐幹夫会長）は、令和五年十一月十九日（日）に伊形小学校で合同防災訓練を行いました。

午前9時に津波警報が発令されたとの想定で、土々呂分団第34部（中原翔太郎）及び第35部（佐藤圭一郎）の避難呼び掛けを聞いた皆さんは、伊形小学校に避難しました。開会あいさつの後、心肺蘇生法からAED操作要領・スモークハウステ験・水消火器による初期消火訓練・毛布と竹ポールで作成した簡易担架で患者搬送などを体験しました。消防団活動内容などの紹介もあり、3地域一体となった防災意識が高まりました。

鶴ヶ丘1区防災訓練

鶴ヶ丘1区自主防災組織（秋丸進会長）は、令和五年十一月二十六日（日）に鶴ヶ丘街区公園で防災訓練を行いました。

午前9時に大地震が発生したとの想定で、恒富第2分団第32部（徳丸康彦部長）の避難呼び掛けにより続々と避難して来ました。怪我した住民を担架で公園に搬送した所から訓練を開始しました。心肺蘇生法からAED操作要領では、若い世代の方が積極的に参加すると共に、周りの皆さんも真剣に見学してました。防災専門業者からは、油火災の状況を再現し、初期消火を行う際の注意点など説明を受けた後、代表者による油火災の初期消火を体験しました。併せて防災グッズの紹介もありました。最後に煙体験ハウスを通過した後、参加賞を配布し防災訓練を無事に終了しました。

大門町区防災訓練

大門区自主防災組織（田中純一郎会長）は、令和五年十一月二十五日（土）に東海コミセンで防災訓練を行いました。

防災講話で防災推進員から、揺れを感じなくても津波が到達する場合があります、普段から情報収集手段を複数確保し、近所の皆さんで声を掛け合い安全確保に努める必要があると説明がありました。また平成28年に新潟県で発生した住宅密集地火災での教訓や令和4年延岡市火災統計から延岡市の火災発生件数や原因などの紹介がありました。駐車場では、煙体験ハウスで煙中歩行体験と水消火器を使った初期消火訓練を行いました。煙体験ハウス通過後、「前が全く見えなかった、日頃の火災予防は大事」など感想がありました。初期消火訓練で消火器の使用法を確認しました。会長より「継続して大門区の防災力向上につなげたい」との挨拶で訓練終了しました。



【一緒に行こう】

【お母さんと消火】